

第二十回帝國議會 衆議院 記名ノ國債ヲ目的トスル質權ノ設定ニ關スル法律案委員會會議錄(筆記)第一回

委員成立

明治三十七年三月二十四日議長ノ指名ヲ以テ本委員九名ヲ選定ス其ノ名氏左ノ如シ

伊夫伎 資弼君 國井 庫君 築山 和一君

坂本 英俊君 木暮 武太夫君 福留 清四郎君

野尻 邦基君 小山田 信藏君 宮古 啓三郎君

明治三十七年三月二十四日午前十時二十五分委員長理事互選ノ爲各委員參集ス其ノ氏名左ノ如シ

伊夫伎 資弼君 國井 庫君 築山 和一君

木暮 武太夫君 野尻 邦基君 宮古 啓三郎君

福留 清四郎君

年長者野尻邦基君投票管理者トナル

○投票管理者野尻邦基君 只今ヨリ會議ヲ開キマシテ委員長理事ノ選舉ヲ行ヒマス

○國井庫君 投票ニ由ラス年長年少ノ例ニヨリ委員長理事ヲ推薦シタイト思フノデスガ年少者ノ小山田君ノ御出席ガナイカラ出席者中ノ年少者ヲ理事ニ推薦シタラドウデセウカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○投票管理者野尻邦基君 御異議ガナケレハ國井君ノ發議ニ從ヒマス……結果ヲ報告シマス私カ委員長ニ宮古啓三郎君カ理事ニ當選シマシタ

○木暮武太夫君 選舉ニ引續テ會議ニ遷ッデハ如何デセウカ
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長野尻邦基君 夫レハ引續議キ會議ヲ開キマス
會議

出席政府委員左ノ如シ

司法省所管事務政府委員 河村 讓三郎君

大藏省所管事務政府委員 塚田 達二郎君

○木暮武太夫君 夫レハ本案中ノ民法第三百六十一條ヲ適用セタ理由ノ説明ヲ願イマス

○政府委員河村讓三郎君 從來ノ法文ニ依リマスルト記名ノ國債ヲ質權ノ目的ト致シマスルトキハ當事者間ニハ當然效力ハアリマスルガ第二者ニ對シテハ特別ノ意思表示カナケレバ當然效力カナイ夫レガ爲ニ實際ノ市場取引等ニ於テ尠ナカラヌ不便ヲ感シマスルカラ恰モ此際國債々券ノ流通ヲ圖ル爲ニモ好都合アルカラ此特別法ノ結果從來ノ如キ窮屈ヲ避ケ圓滑ナル國債々券ノ流通が見タイトノ理由カラ是レヲ提出シタ譯デゴザイマス

○宮古啓三郎君 此案ヲ可決スルコトニスルト其結果ニ於テ實際上ノ弊害ハナイト云

フ御成算ガアリマスカ

○政府委員河村讓三郎君 弊害ハ毫モナイト信シマス此法文ノ適用ノ結果ハ當然第三者ニモ有效デアリマスガ此第三者ニ對シマシテモ國庫ハ是レヲ持參シナイ者ニハ支拂ヲセヌシ亦日附溯及ノ上ニモ勿論弊害ヲ想像スルコトハ出來マセヌ

○宮古啓三郎君 利子ノ上ニハ如何ナル結果ヲ來スノデスカ

○政府委員塚田達二郎君 利子ハ其債券ニ利札ヲ添ヘルヨウニナッデ居マスカラ是又利札ト利子トヲ引換ヘルヤウニナリマス

○委員長野尻邦基君 此案ハ當分ノ中ダケノ適用ノ爲ニ提出サレタノデスカ若クハ永遠ノ性質ヲ有スル法條ノ積リデスカ

○政府委員河村讓三郎君 夫レハ永遠ノ考ヘテ提出シタノデス元來政府ノ意嚮デハ民法ニ此規定アル爲ニ國債デアッデモ一個人ノ發行スル記名債券ト同等ノ手續ヲ踐行セネハナラヌト云フコトハ甚ダ窮屈ナコトヲ感シテ居リマシタカラ恰モ此際デモアリマスニ

ヨリ此法案ノ下ニ此種ノ有價證券ノ流通ノ圓滑ト地位ノ鞏固トヲ保證シ且ツハ銀行業者等ノ希望ニモ添フヤウト信シマシタ次第デアリマスカラ只今御尋ノ如キ一時的ノモノデナク政府ハ之ニ對シテ永遠ノ適用ヲ期シテ居リマス

○國井庫君 私ハ原案ニ贊成ヲ致シマス

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○委員長野尻邦基君 モウ御質問ガナケレバ採決ヲ致シマス多數者ノ贊成ニヨッテ原案ハ可決セラレマシタ……是デ散會致シマス

千時午前十時四十分

明治三十七年三月二十四日印刷

明治三十七年三月二十五日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局